

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	H004	行 事 名	電波の日・情報通信月間記念講演会 ～「Chat(チャット)GPT」にみるAIの進化や人との共生などを解説～			
行事形式	ICTセミナー等	主 催 団 体	中国情報通信懇談会・中国総合通信局			
開催日	5月30日		開催場所	広島コンベンションホール(広島市東区)		
行 事 参 加 者 数	会場:47名 オンライン:174名		Webサイト URL	https://www.cic-infonet.jp/news/		
行事実施概要・アピール等						
<p>「電波の日・情報通信月間記念講演会」を開催 ～「Chat(チャット)GPT」にみるAIの進化や人との共生などを解説～</p> <p>中国情報通信懇談会(会長:清水 希茂(中国経済連合会会長))は、令和5年5月30日、広島コンベンションホール(広島市東区)において、中国総合通信局(局長:和久屋 聰)との共催により、電波の日・情報通信月間を記念した講演会をハイブリッド形式で開催し、中国地域のみならず全国の地方公共団体、ICT関連企業関係者等221名の方に聴講いただきました。</p> <p>講師には、『AI兵器と未来社会キラーロボットの正体』(朝日新書)、編集『人工知能学典』(共立出版、2017)などの著者であり、マルチエージェント、複雑ネットワーク科学、計算社会科学などの研究に従事されている慶應義塾大学 理工学部 教授／共生知能創発社会研究センター センター長 栗原 聰 氏をお迎えし、『「Chat(チャット)GPT」にみるAIの進化～AIと人・社会との共生～』と題してご講演いただきました。</p> <p>講義の冒頭、AIの基本的な考え方は1950年代には既に確立されていたものの、ハード・ソフトともスペックが全く追いついていなかったからなかなか普及に至らなかつたが、最近になってディープラーニングの技術が一定のスケールを超え、実用化レベルに至ったことから、急激な進化を遂げたことを等を分かりやすくご説明いただきました。その後、ChatGPTに代表される「生成系AI」と、AI自身が物事を考える「自立型AI」との違いについて、生成系AIの仕組みを詳しくご説明をいただきました。最後に、現在脚光を浴びている「生成系AI」と人はどう付き合っていくべきなのかという命題に対し、「生成系AI」は、自らが意思をもっているわけではなく必要以上に恐れることはないことや、「生成系AI」をうまく「道具」として使うため、AIリテラシーやモラルを身に付けることが重要であるというお話をいただきました。</p>						

